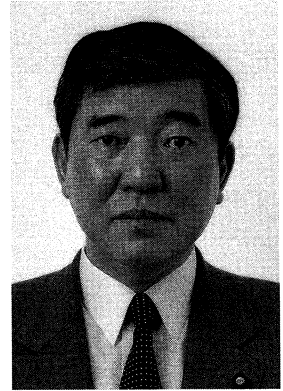


祝 辞



農林水産大臣

石破 茂

社団法人日本獣医師会が創立60周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。

貴会は、昭和23年に設立されて以来、家畜の健康管理や家畜伝染病の防疫等に携わる産業動物獣医師の活動を支援するため、獣医師確保対策や獣医技術の向上等に取り組まれてこられました。また、貴会は、安全で良質な畜産物の安定供給や、狂犬病に代表される人と動物の共通感染症の発生予防等を通じて、動物の命のみならず人の健康にも大きな関わりを持つ重要な責務を国民に果たしてこられました。

特に、直近の10年に限ってみても、平成13年にBSEが国内で初めて確認され、平成16年に高病原性鳥インフルエンザが79年ぶりに発生したことに対応し、貴会は、産業動物獣医師を支援する取組を強化されるとともに、国民に家畜伝染病の正しい知識を普及する活動等にも積極的に取り組んでこられました。

このように、食の安全確保や人と動物の共通感染症対策に対する国民の期待が益々高まっている中で、国民の期待に応える取組を推進する貴会や第一線でご活躍いただいている多くの獣医師の皆様方に対し、深く敬意を表する次第であります。

今後は、食の安全確保や国民の健康保護といった従来からの観点に加え、本年6月に「愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律」が成立したことから、ペットの健康を保護する上で重要なペットフードの安全性確保に資する取組も求められていくものと考えます。貴会におかれましては、食の安全確保や国民生活の質の向上に資する取組に引き続きご尽力いただくとともに、獣医師の多様な社会的使命を果たしていくための指導的な役割を担われますよう強く希望いたします。

農林水産省といたしましても、事故米穀の不正規流通問題を契機として、食の安全の確保に係る施策の再点検を行い、消費者、生産者さらには海外からも評価される施策の実施に全力で取り組んでまいります。このような施策の推進のためにも、貴会をはじめ獣医師の皆様方の一層のご活躍が不可欠でありますので、よろしくお願い申し上げます。

最後に、貴会の更なるご発展と、関係者各位のご健勝を祈念いたしまして、私の祝辞とさせていただきます。